

図書館部報

岡崎市現職研修委員会

学校図書館部

平成 22 年 5 月 24 日

No. 1

読書してますか

現職研修委員会学校図書館部部长
連尺小学校 鈴木 純子

子供は「耳に習うより、目に教わる」と言われます。

母親がものを大事に扱えば、子供は自然にものを大切に扱うようになり、扉を静かに閉める母親であれば、子供は何も言わなくても静かに閉めるようになります。活字に親しむ家族であれば、子供は自然に活字を自分の生活の中に取り入れます。生活習慣の定着は、コツコツ積み上げる日常生活が基本であるのと同じように、読書習慣を身につけるコツも身近にあるように思います。

教育現場でも読書時間を確保しようということで、読書タイムを設定している学校がたくさんあります。手軽にできる読み聞かせをはじめ、楽しい読書体験を積みせようとブックトークや読書紹介などを意欲的に実践している先生方もたくさんいます。特に、感想を求めない地域読み聞かせボランティアが手にする本の読み聞かせは、子供たちの心に温かい火をともし、周りにやさしい雰囲気醸し出しています。

小学校では平成 23 年度から新学習指導要領の完全実施となります。柱の一つである「言語活動の充実」を支える条件として読書活動の推進があります。「楽しく」「幅広く」「考えを広げ、深める」読書活動の充実が求められています。

低学年では、やさしい読み物の読み聞かせやストーリーテリングなどを聞くことを通して読書に興味を持てるようにします。

中学年では、読書の範囲を広げるために、学校図書館の利用方法を学び、図書を紹介するブックトークや読書紹介などの資料を積極的に利用するようにします。

高学年では、複数の本や文章、そのほかの資料などを読み、読む目的に応じて交流活動を取り入れて互いに学び合うよう工夫し、考えを広げたり深めたりするようにします。

本校では、教科書の教材を読み深めつつ、言語活動を充実させるために並行読書を子供たちにすすめています。関連図書を選び、目標を決めて読むブックウォークも行っています。そんな取り組みが、子供たちに読書本来の面白さを味わわせ、自力で読むことのできる力を育てていけたらと願っています。そして、大人になったときに目的に応じた図書を自分で探し、選択し、解釈できる自立した大人になってくれるものと信じています。

平成22年度 図書館部紹介

部長 鈴木 純子 (連尺小)
 塩澤 順治 (大門小)
 内田 幹也 (河合中)
 指導員 浅井 圭子 (福岡小)
 世話係 田村実千子 (矢作南小)
 鈴木 美佐 (緑丘小)
 丹下知佐子 (矢作西小)
 坂部 展子 (竜美丘小)
 近藤喜美子 (矢作中)
 内藤利江子 (河合中)

図書館の紹介

岡崎市立額田中学校

本校は、朝の読書タイムを取り入れています。朝の部活動練習後、子供たちが進んで本を読む姿が見られます。本校は八つの小さな小学校から集まった中学校であり、小学校の頃から読書に親しむ習慣が確立しているようです。図書委員会では、図書館をよりよい場所にするために図書委員全員で活動を進めています。

第56回青少年読書感想文全国コンクール 課題図書

学 年	書 名	出 版 社
小学校低学年	ミリーのすてきなぼうし	B L 出版
	とっておきの詩	P H P 研究所
	むねとんとん	小峰書店
	いじわるなないしょオバケ	文溪堂
小学校中学年	こぶとりたろう	童心社
	点子ちゃん	毎日新聞社
	ともだちのしるしだよ	岩崎書店
	やんちゃ子グマがやってきた！ 森からのメッセージ	フレーベル館
小学校高学年	すみ鬼にげた	福音館書店
	建具職人の千太郎	くもん出版
	リキシャ☆ガール	鈴木出版
	海は生きている	講談社
中学校全学年	明日につづくリズム	ポプラ社
	ビーバー族のしるし	あすなる書房
	奇跡のプレイボール 元兵士たちの日米野球	金の星社

平成22年度 学校図書館 重点目標

豊かな心情を培い、主体的に学ぶ力を育てる

「読書の楽しさを知り、進んで読む態度を育てる」

「情報・メディアを活用する能力と自ら学ぶ意欲を育てる」

積極的な活動をお願いします。